

## 競技上の注意

### ルールについて

現行の日本卓球ルールで5ゲームマッチで行う。ただし、タイムアウトは適用しません。フロアには選手と審判以外の立ち入りは禁止とし、ゲーム間のアドバイスも禁止します。

### 審判について

原則として敗者審判で行う。最初の試合のみ指定選手が行う（番号に枠）。  
対戦記録表は使用しません。負けた選手はコートに残り、コートに備え付けのトーナメント表に従って、次の選手を確認の上すぐに試合を開始してください。  
審判は自分の担当した試合の記録を、トーナメント表に記入して終了（勝った選手は確認する）。

### 進行について

フロアには試合を行う選手、次の選手、審判以外の立ち入りは禁止します。  
放送(試合のコール)は、プログラムに数字(試合順序)までは原則として行いません。指定コートで番号順に行います。試合に勝った選手は、本部進行席に自分の試合結果を口頭で報告して、観覧席に戻り次の試合に備えてください。  
負けた選手はコートに残り選手を確認してすぐに試合を開始してください。  
次の試合の選手はコート後方の通路の椅子で待機して、終了後すぐに試合を開始してください。  
指定コートに出場しない場合は棄権とみなします。試合進行に注意してください。  
試合前の練習は3本(コートチェンジ無)ですすぐに試合を開始してください。

### 県の代表人数

男女各2名

(推薦出場：長谷川煌(樹徳中)、原澤駿太(卓桜会栃木卓球センター)、原澤杏佳(Scrix))

代表権を獲得した選手は試合終了後、本部席で本大会の出場確認を行い要項を配布します。

### その他注意事項

選手は自分の番号を確認し、進行状況に注意しながら、早めに出場する準備をしてください。特に出入口付近は注意し、出入口付近には立ち止まらないでください。  
試合を行う選手の荷物は卓球台の下に置き、フェンス際には置かないでください。

